

五六一〇四

理科筆記帳

卷之一

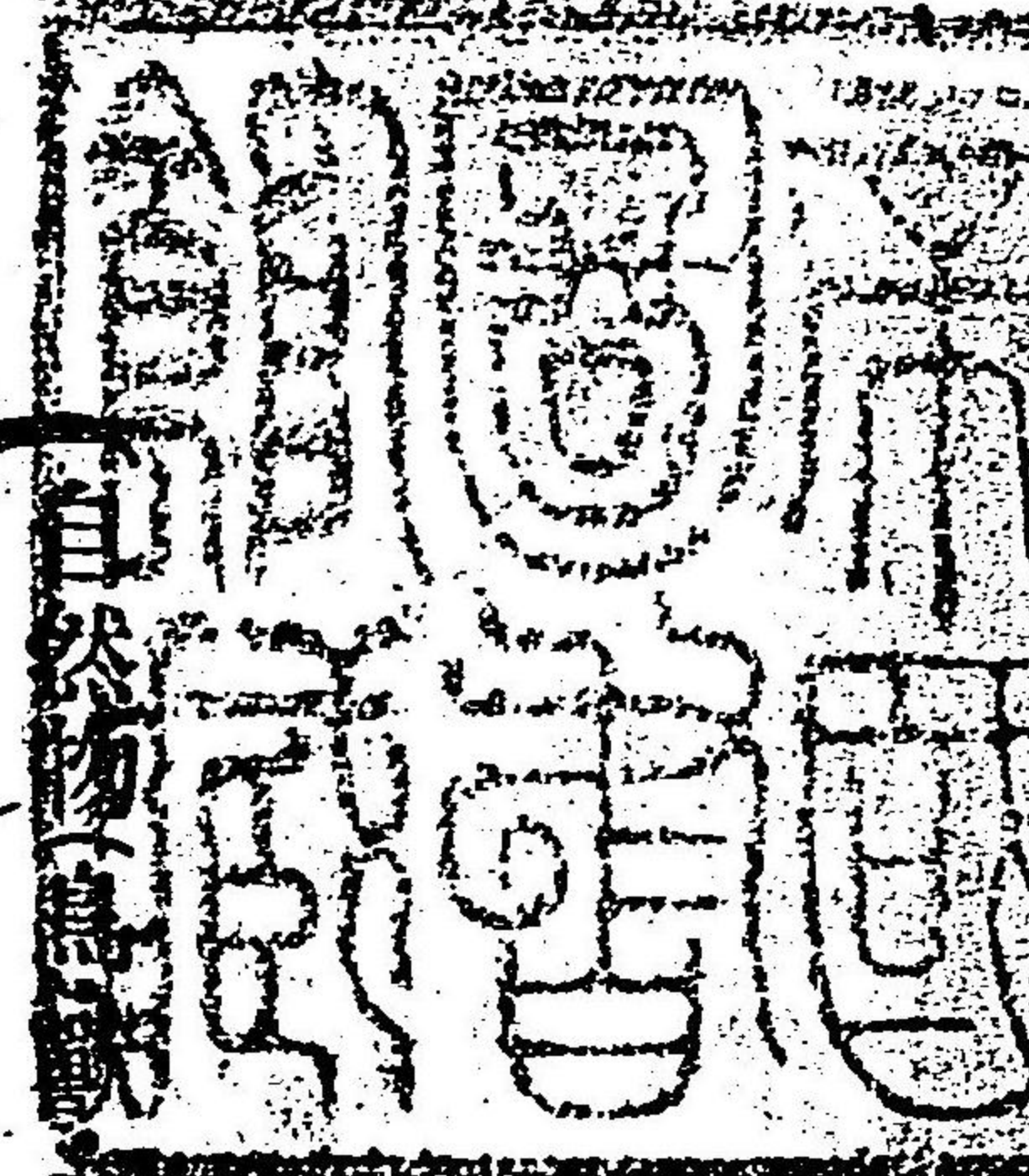


東京 太陽舎 發

理科筆記帳
322

51
708

理科筆記帳 卷一



理科

人工物(家・衣服・紙・筆)

物理・化學

自然物(鳥・獸・蟲・草・木・金・石)

生物

動物(馬・蟲・貝)
植物(草・木・苔・菌)

生理

無生物(礦物(金・石・土・水))

現象

自然(花さき・鳥なき・水流れ・電なり・火もゆ)

人事(農業・商業・工業・政治・戦争)

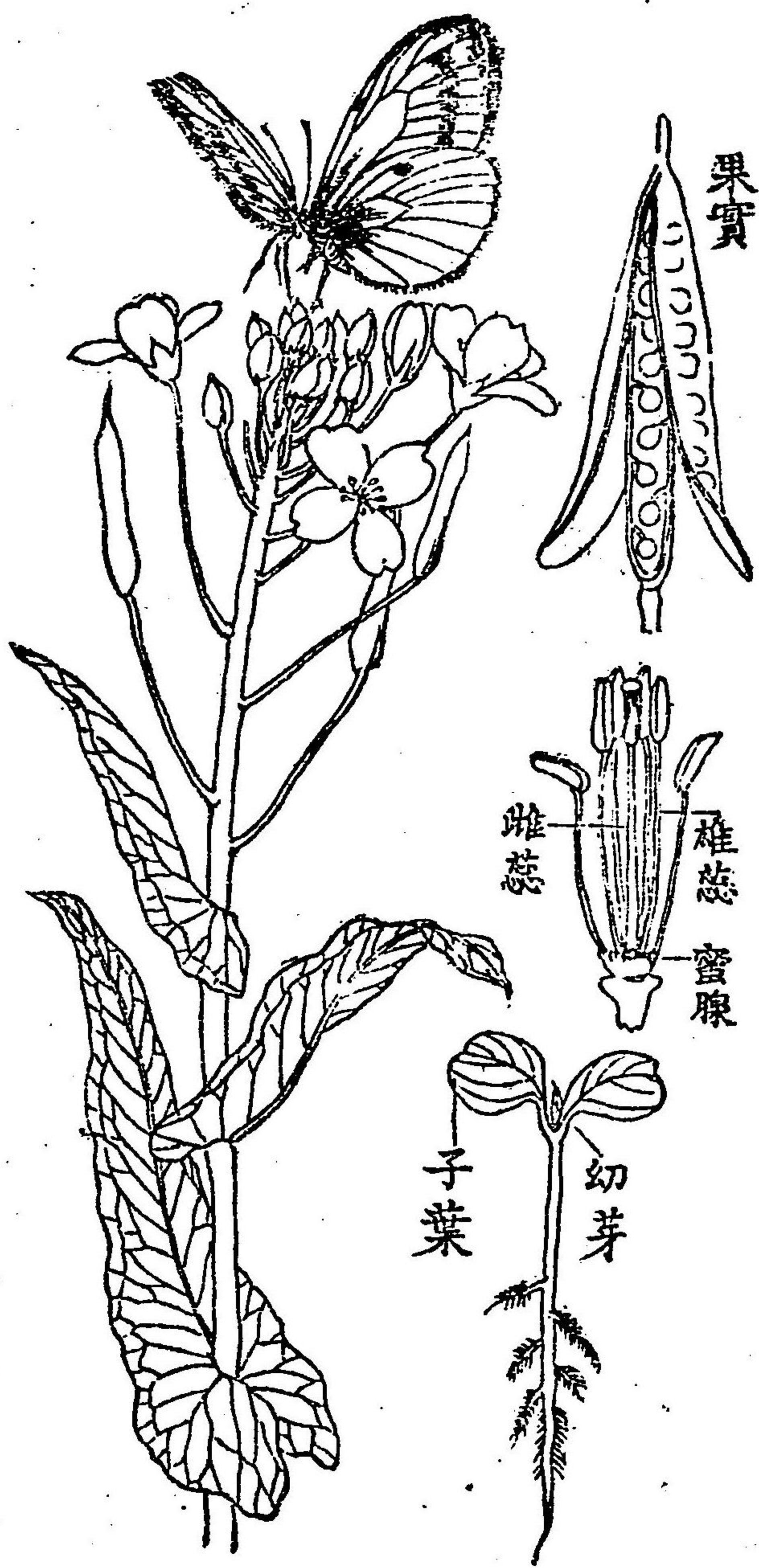
教材取調會 編纂

明治
37 3 16
内交

理科筆記帳 卷一 生徒用

油菜 アブラナ

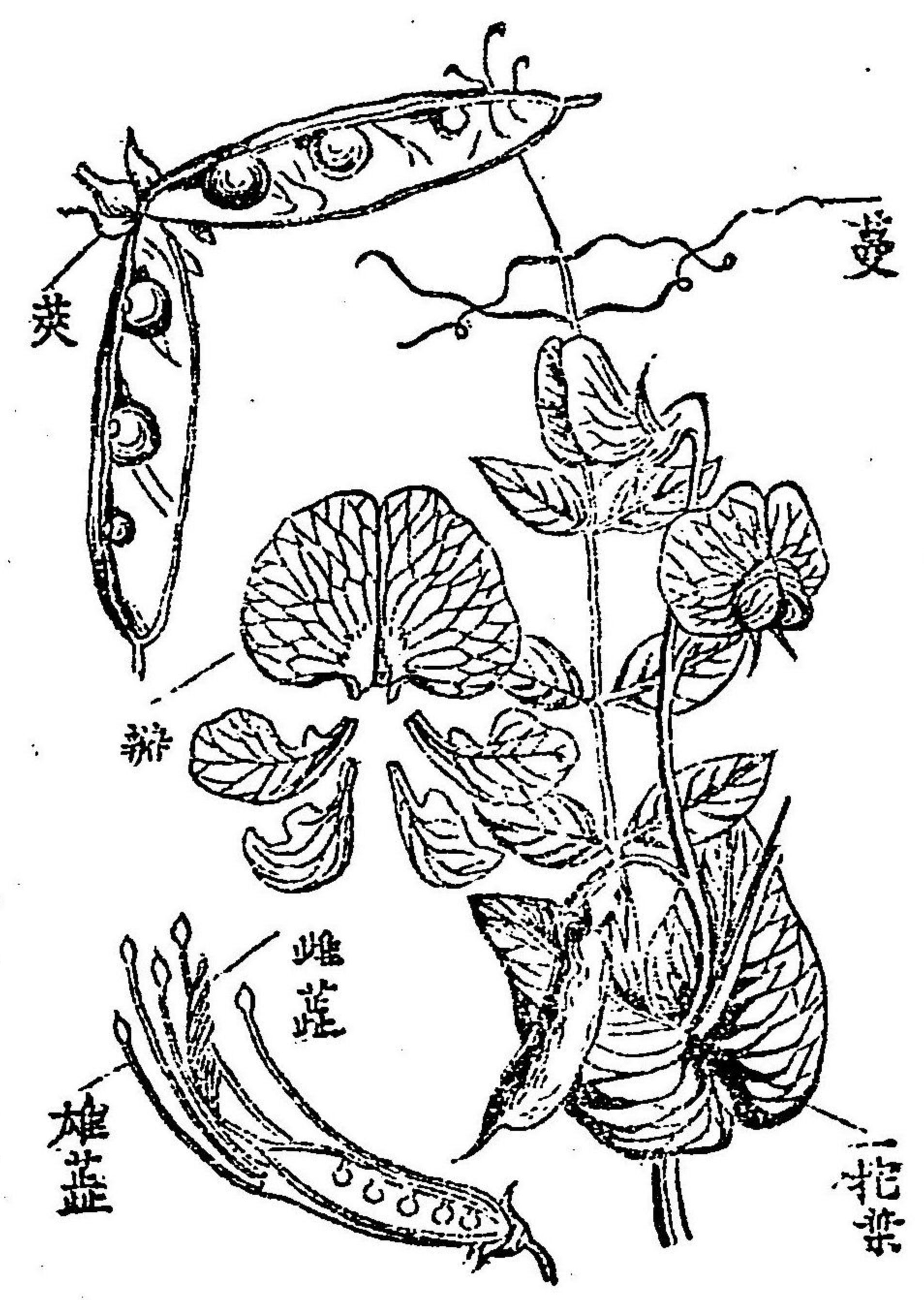
は根・莖・葉・花の四部より成る。花は萼ガク四つ瓣ペタ四枚ありて十字形をなす。故に十字花といふ。雌蕊メジロ一つ雄蕊オシロ六つあり。その中四本は長く二本は短し。蜜腺ミツセンは雄蕊のもとにありて蟲を誘ふ。葉は網狀脈ローソクローシヤクをなす。



種子
は種
油と
なる。

豌豆

の花は五つの萼と五つの瓣あり。雄蕊十本あり一本は離れ九本は合して一本の雌蕊を包む。瓣の形各異なりて蛾の如し、故に蛾形花といふ。種子は皮と胚にてなり、胚の子葉厚し。



葉は對生にて、羽狀複葉をなす。

蔓は葉の變化なり。

麥

の花は集りて穂をなし。各花とも殻カラにて包まれ。中に三本の雄蕊と一本の雌蕊とあり。

葉は平

行。脈を

なす。莖

は中空

にして

節あり葉柄に包まる。

稻・粟キビ・黍キビ・竹・ヨシ・ススキ・マコモ等と共に禾本科類といふ。



葉

對生葉(エンドウ)
互生葉(ムギ・アブラナ)

葉

網脈葉(エンドウ・アブラナ)
平行脈葉(麥・稻・竹)

植物

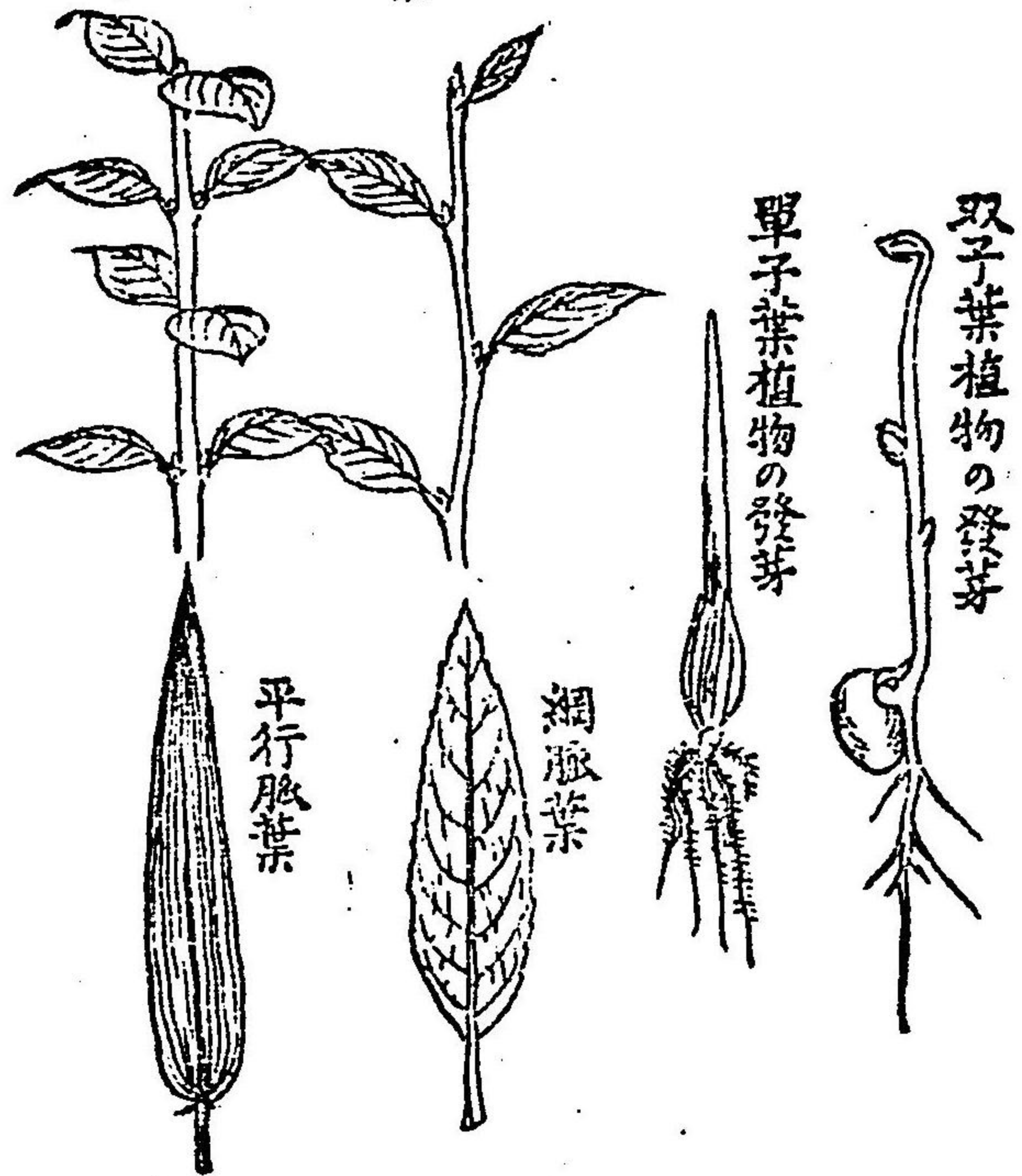
單子葉植物は其生する時、
一枚の芽を出し葉は平行脈
にて根は鬚根なり (イネ
ムギ)

双子葉植物は其生する時、
二枚の芽を出し、葉は網狀
脈にて根に支あり (ウメ
マメ)

多子葉植物は其生する時多
くの葉を出す、葉は多く針
葉なり

對生葉

互生葉



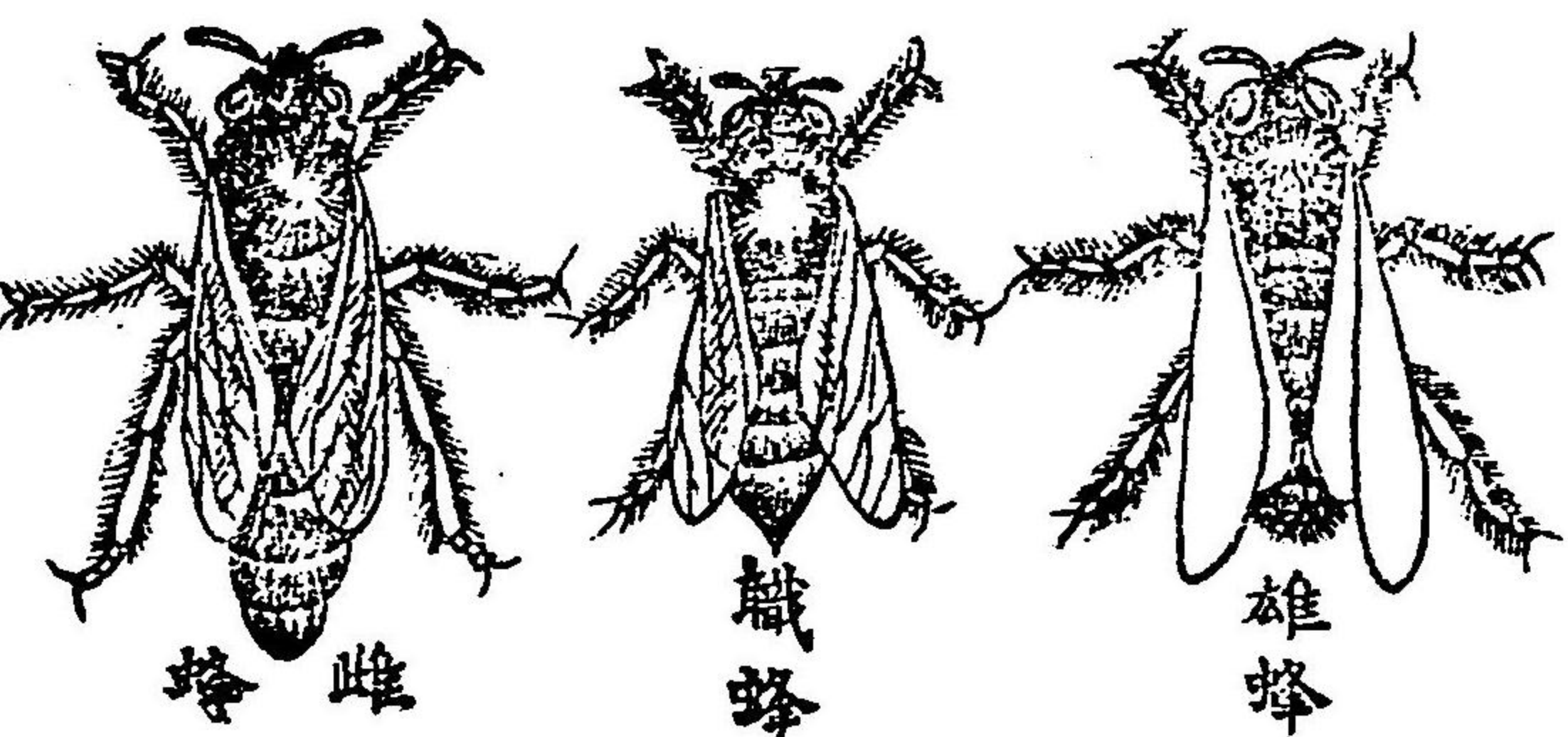
蜂

には足長蜂・やま蜂・くま蜂・蜜蜂等あり。

蜜蜂は一匹の雌蜂(王蜂)と、數匹の雄蜂と、數多の職蜂と集りて一群をなす。雌蜂は春、卵を産み、新に雌

蜂の羽化せざる前に職蜂の一部を誘ひて他に移る。花の蜜を集むるは職蜂なり。花は此蜂の爲め大に助けらる。

蜂蜜は薬用となる故に、農家に蜜蜂を飼ふ。

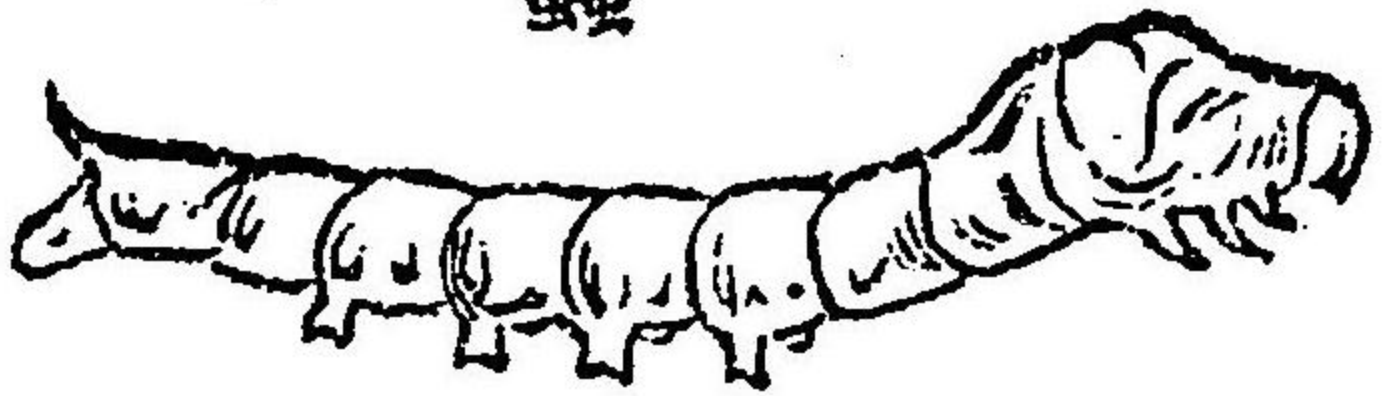


蠶

は卵を出てたる時は、黒き小さき毛蟲なり。五六日毎に眠りて皮をぬぎ、漸次成長す。斯くすること四回にて後、絲を出だし繭を作りて蛹となり、のち繭を出て蛾となる。蠶は生絲をつくるを以て民間これを飼ふ。

蠶の食物は桑葉なり。

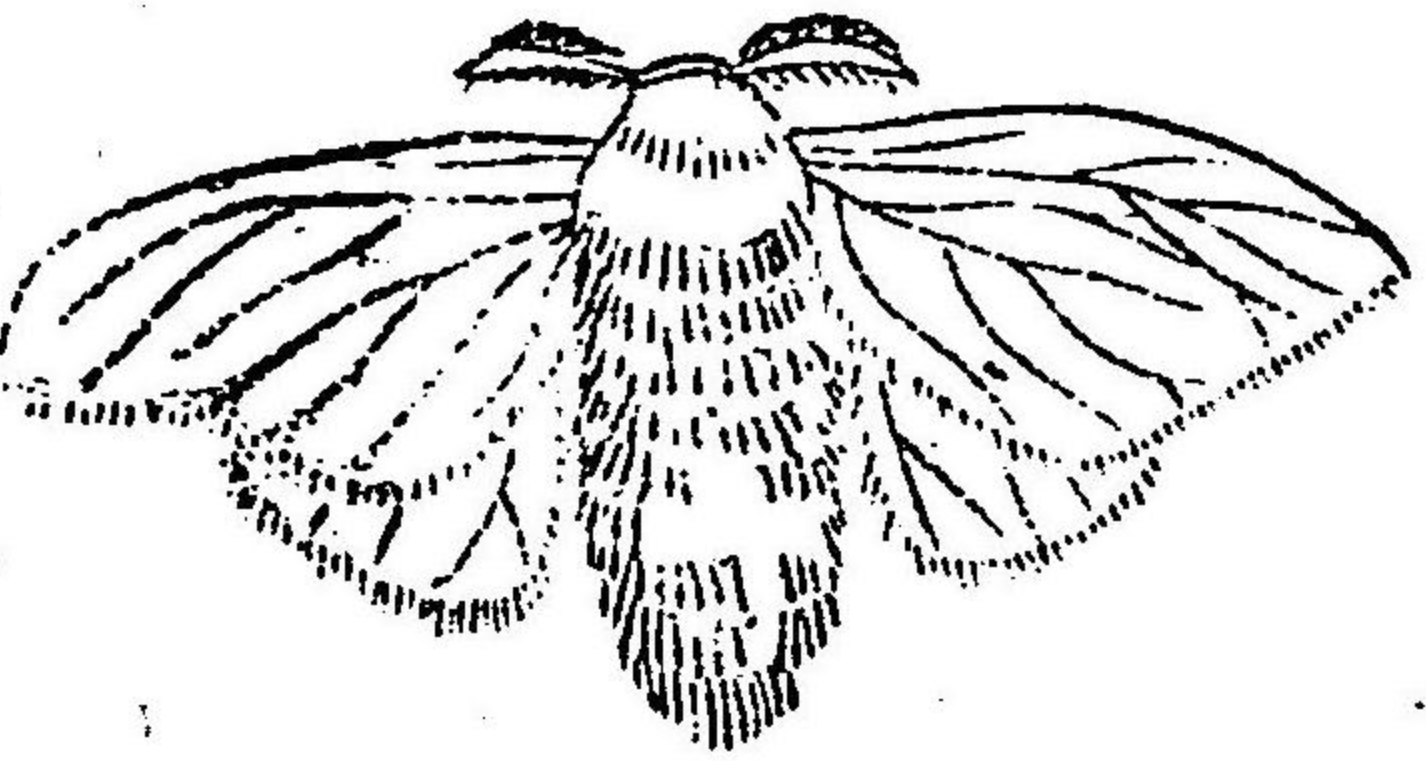
蠶



蛹



蛾



蝶蛾

蛾は夜出で止まる時は羽を開く

蝶はで、止まる時は羽を立つ

桑

には雌木と雄木とあり。雄木の花は集りて穂をな
し。雄木の花も又多く集りて、子房熟すれば著き合
ひて桑の實となる。

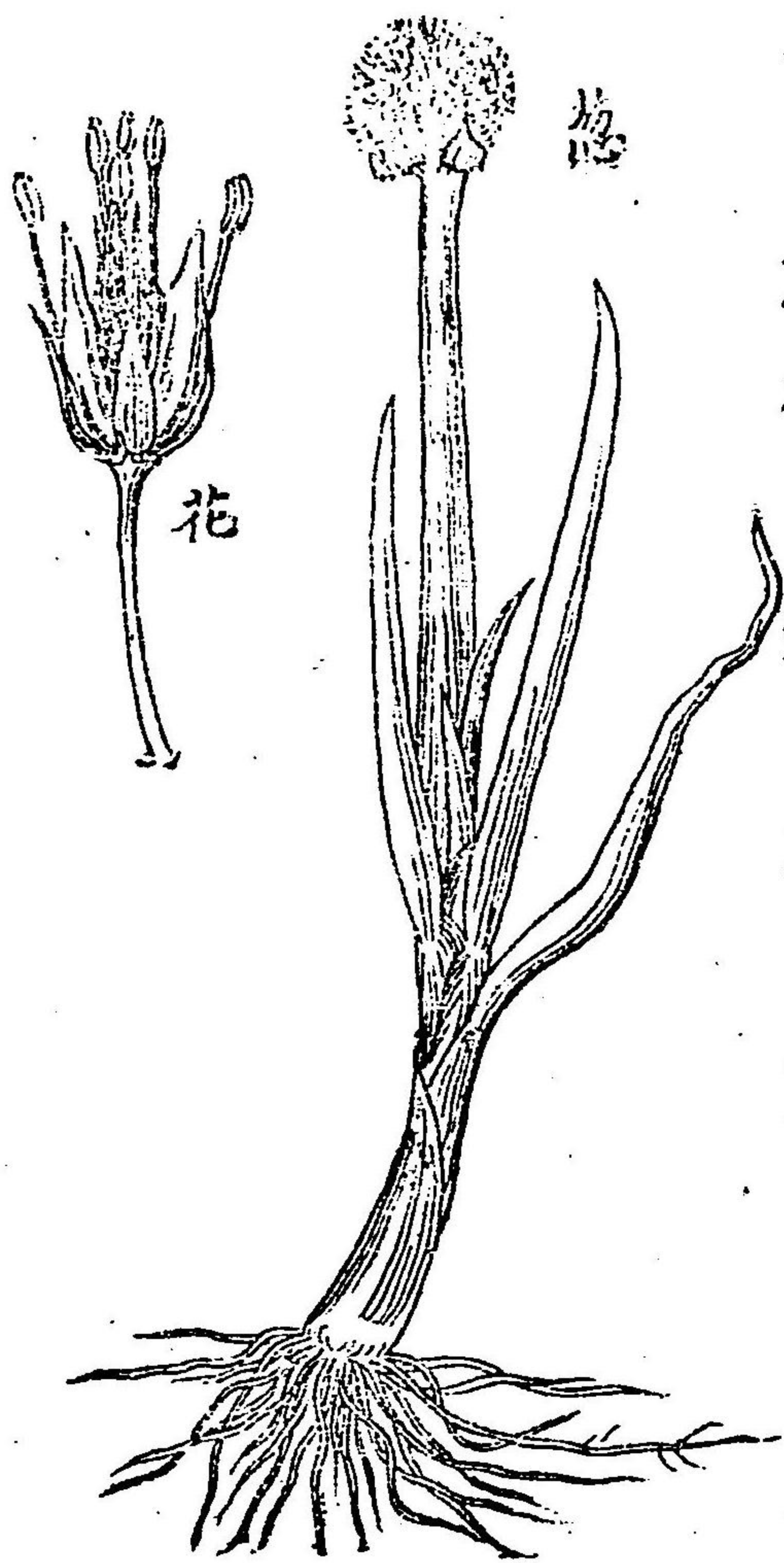
桑に早桑・中桑・晩桑の別
あり又桑の種類は各地
異なれども、市平・柳田・赤
木等は何處にも作
る。桑の害虫には、シヤ
クトリ蟲・羽蟲・ヒメヅ
ー蟲・カミキリ蟲等あり。



葱

は地中に短莖を存する故、其葉は皆地中より出づ
るが如く見ゆ、地中にある莖を地下莖と云ふ俗に
之を白根と云ふも根にあらず。

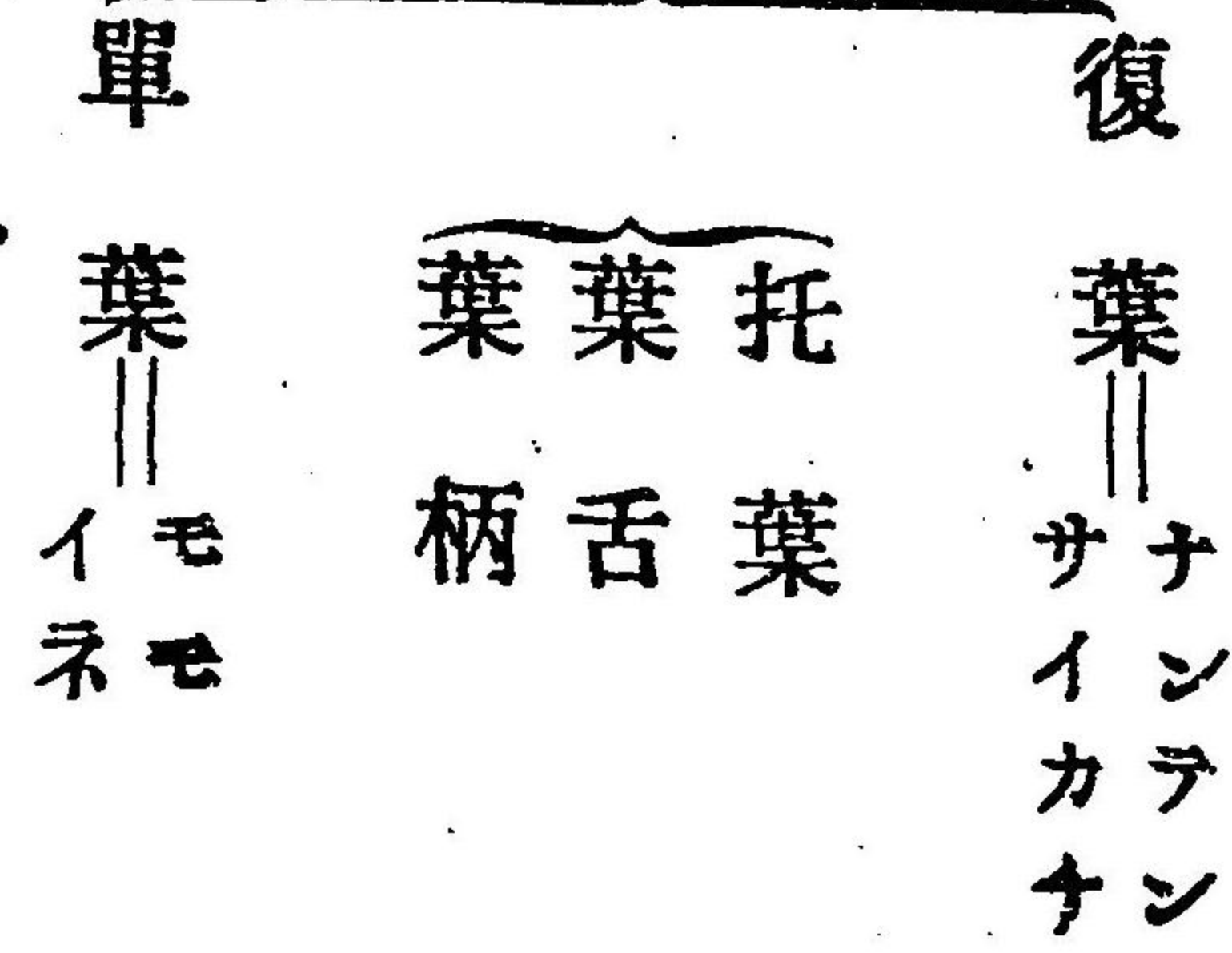
葉に葉身・葉柄の別なく空胴をなす。五月頃、葉と同
様の莖を出し、其先に無數の小白花を球の如くに
つく。花被は桑の花の如く萼と花冠の別なし故に



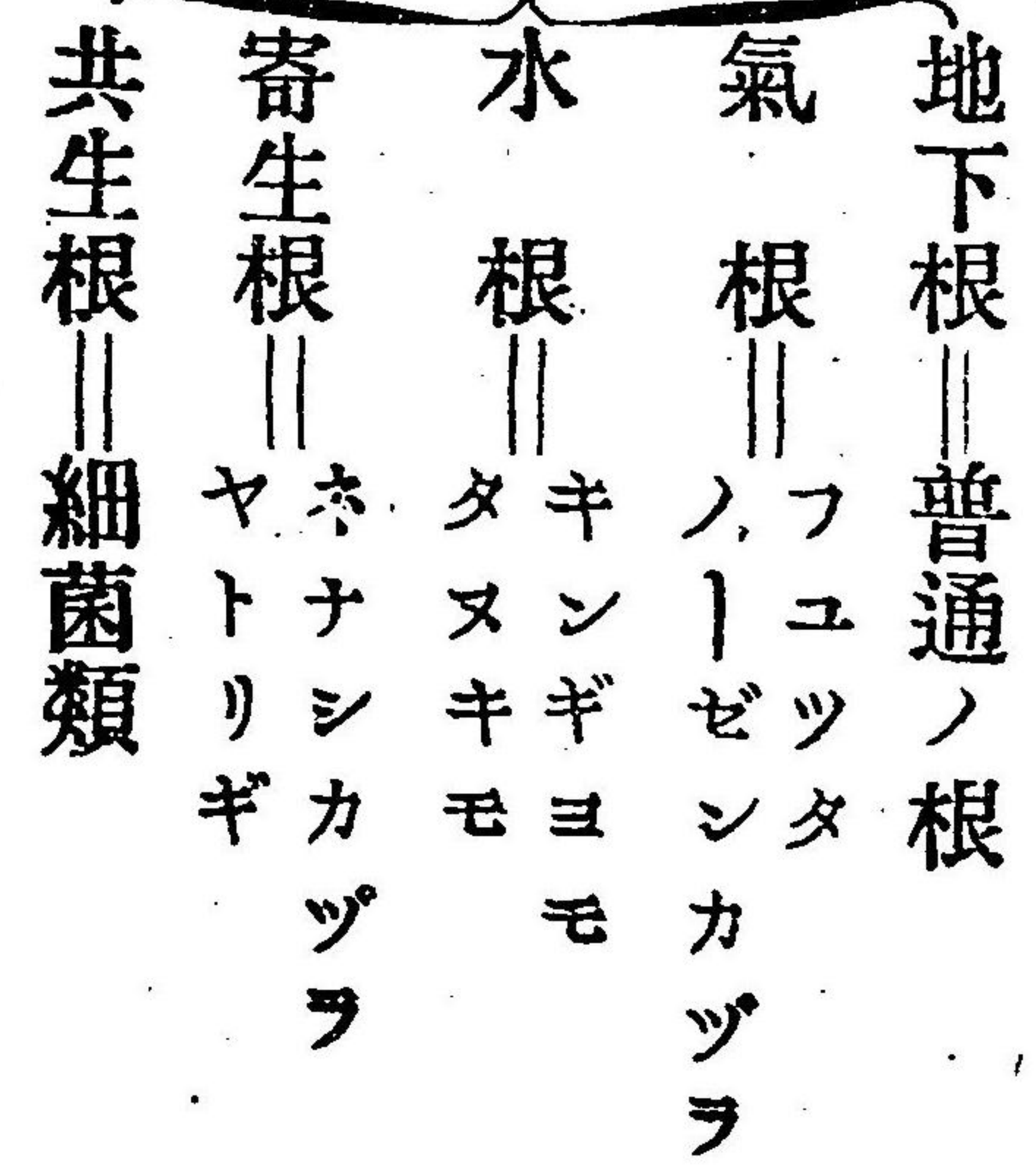
之を花蓋クハガイと云ふ。
雄蕊六つ雌蕊一
つあり。ニラ・ニン
ニク・ラツキヨ一
も葱の種類なり。

花に長柄あり之を小梗と云ひ、小梗ソコゴを支ふる部を花梗と云ふ。花の最も外部にある緑色ミドリイロのものを萼ハダといひ、其一片を花片と云ふ。花の内圍の黄色或は紅色のものを花冠と云ひ、花冠の一片を花瓣と云ふ。萼と花冠とを合せて花被と云ふ。花冠の内部に雄蕊あり、其雄蕊の頂に小囊を着く之を葯と云ふ。葯より黄色の粉を吐く之を花粉と云ひ、葯の柄を花絲と云ふ。又雌蕊の頭を柱頭と云ひ、其柱を花柱と云ひ、花柱の下部に、ふくれたる部あり之を子房コノボと云ふ。

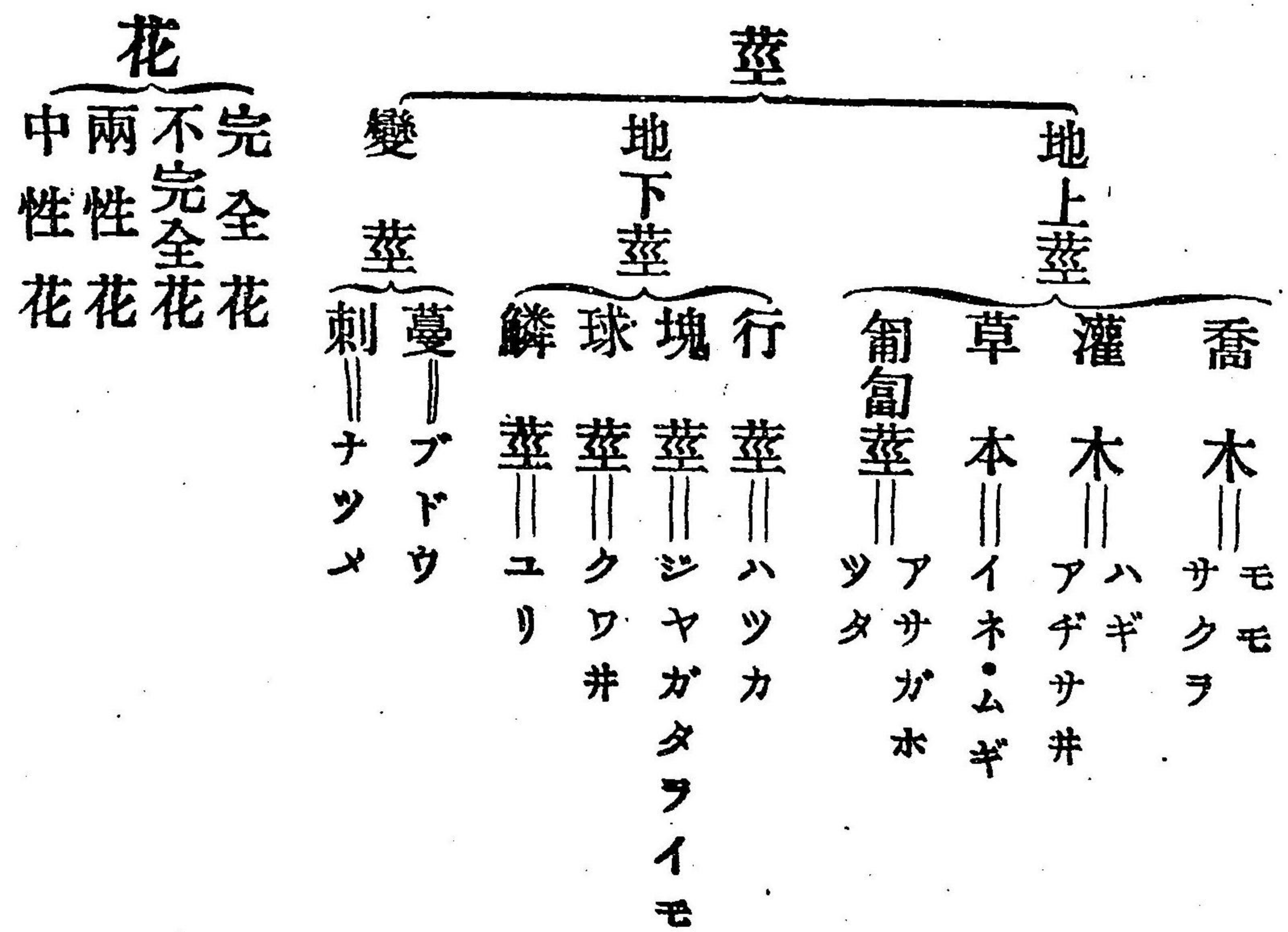
葉



根

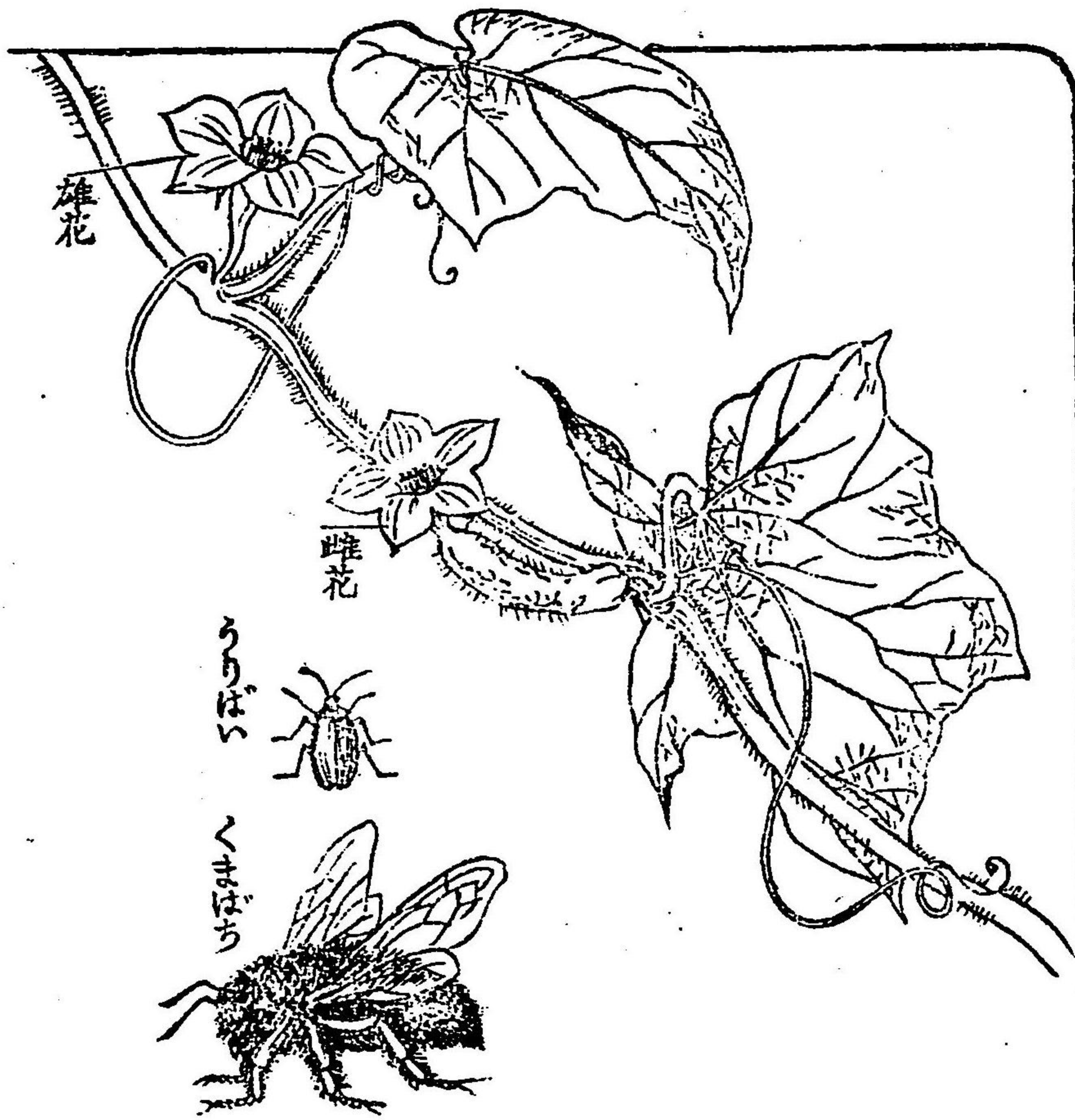


莖



胡瓜^{キウリ}

は其莖蔓又は卷鬚^{クレンス}となり。花に雌雄の別あり。雄花を俗にアダ花と云ふ。摘取る可らず。



雌花は始より小き瓜をつく俗に之を筆と云ふ。雄花は葎三本。雌花は葎一本なり。斯の如く雌花。雄花の異なるものを雌雄同株と云ふ。西瓜・白瓜・瓢^{ヒョウタン}・南瓜等を瓜類と云ひ、此等を蟲媒植物と云ふ。

稻

の根は多くの枝根より成り、莖は節高く、葉柄にて包む、其包む葉柄をハカ

マと云ふ葉は互生、

平行脈なり。花は小

さく、花の外を

包めるものを

穎と云ひ、

穎の内に

六つ

の雄

蕊と

一つ

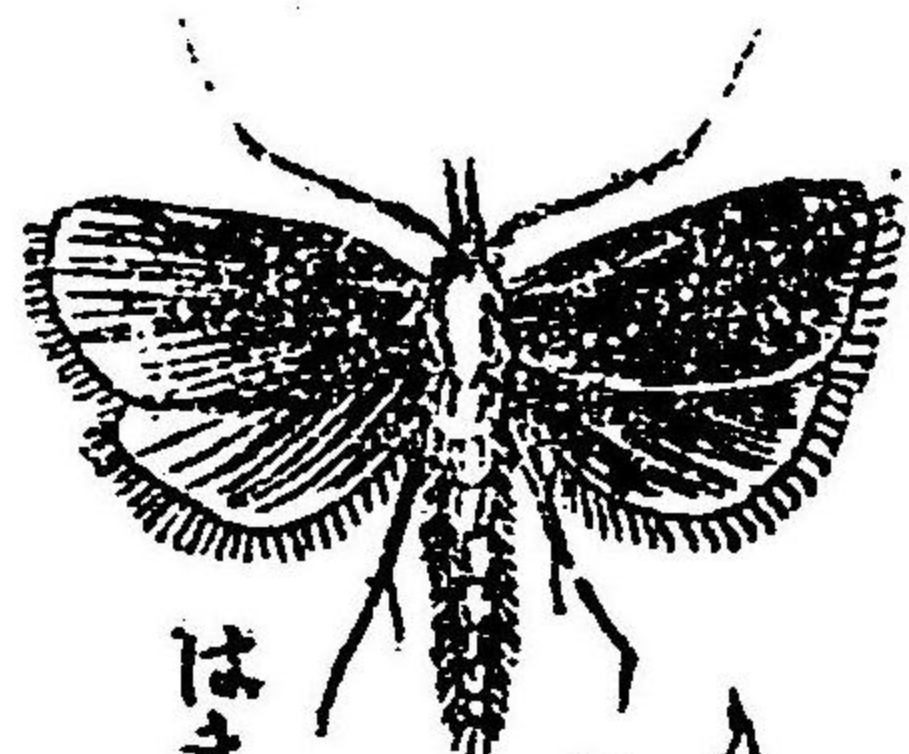
の雌蕊とあり麥・キビ・ヒエ等の禾本科は風媒花にて美ならず。



害蟲

ズイムシ・ハマクリ蟲・ウシカイナゴ等は稻の害蟲なり。又アブヲ蟲は、草木の新芽の汁を吸ひ、後に蟬

稻のイロムシ



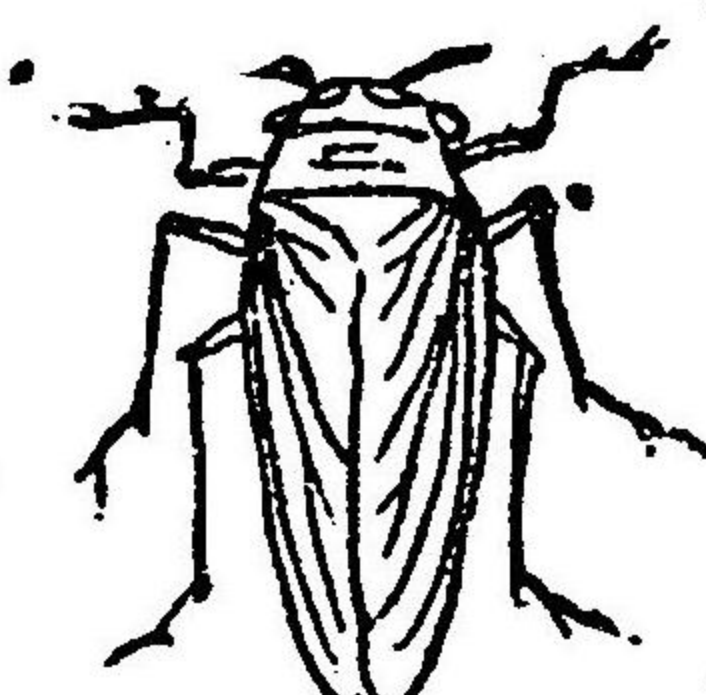
はまぐり虫



ウシカイナゴ



雄 かんう



雌 かんう

アブ



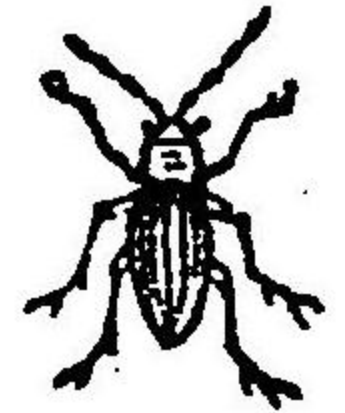
になる。キ
リウヂは、
根を害す、
此等の蟲
は六脚あ
る故に之
を六脚蟲
と云ふ。

害蟲

カミキリ蟲は木の心を喰ひ、シヤクトリ蟲は葉を

喰ふ。其他

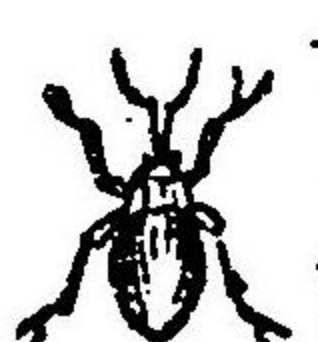
はヤマキ



桑の葉蟲

ひめづりむし

ヒメヅリ

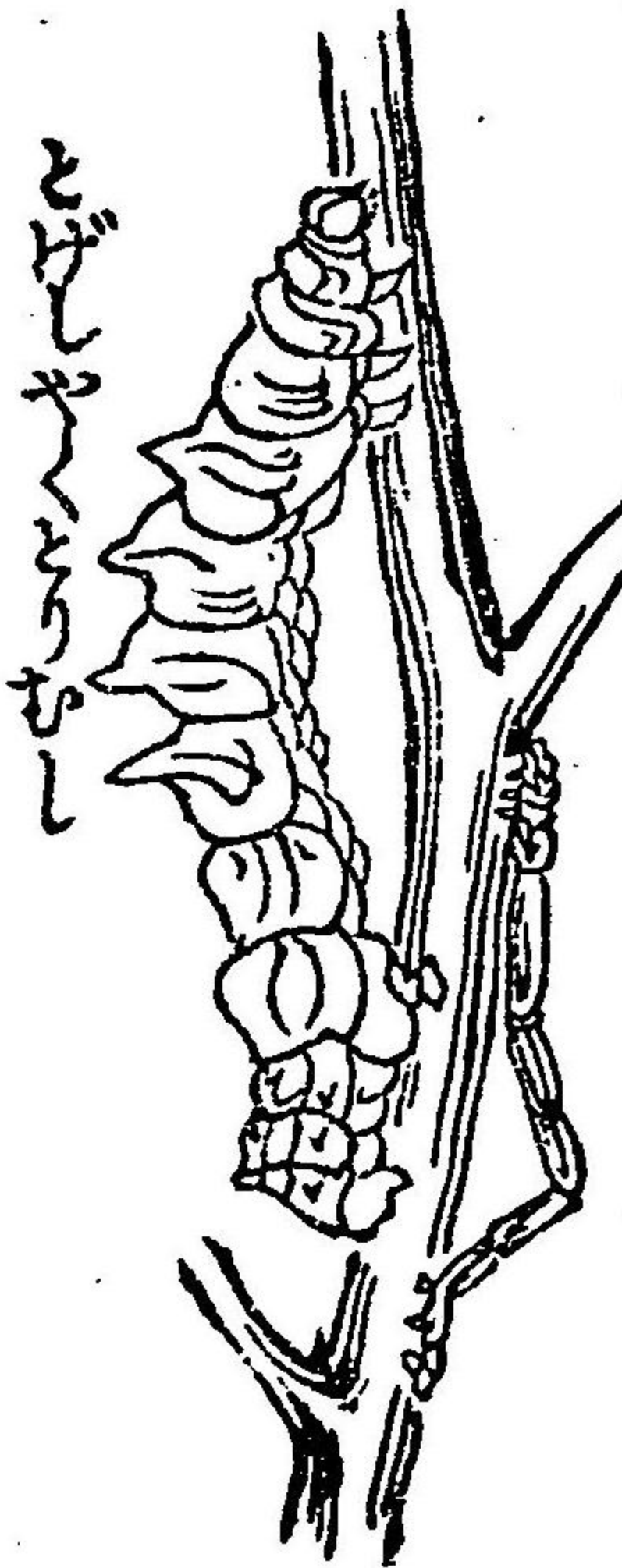


ムシ・ハマ



あだしやんちむし

キムシ等



とびしやんちむし

も害蟲に

時は、はひあるきて後蛹を作り又出てては蝶蛾とも幼蟲の

サナギ

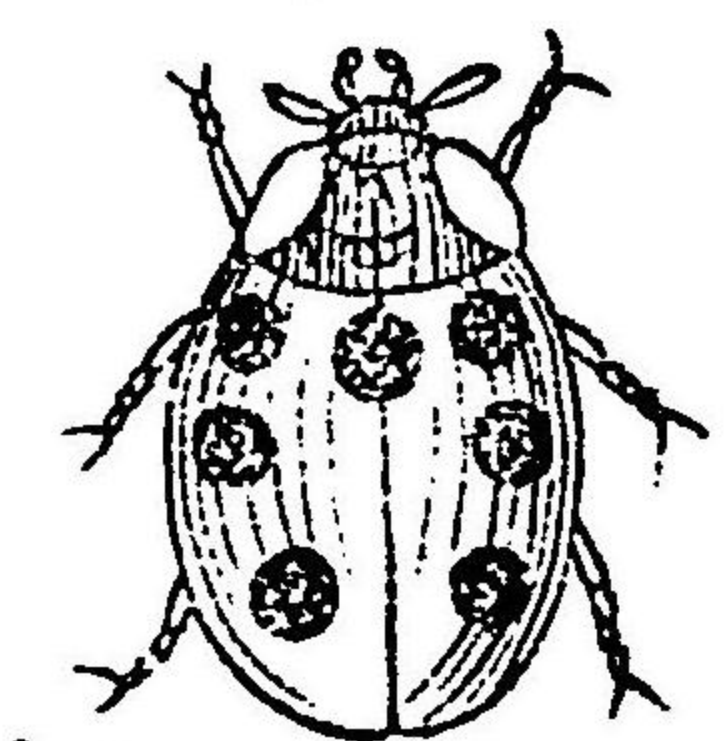
なりて害をなす。

益蟲

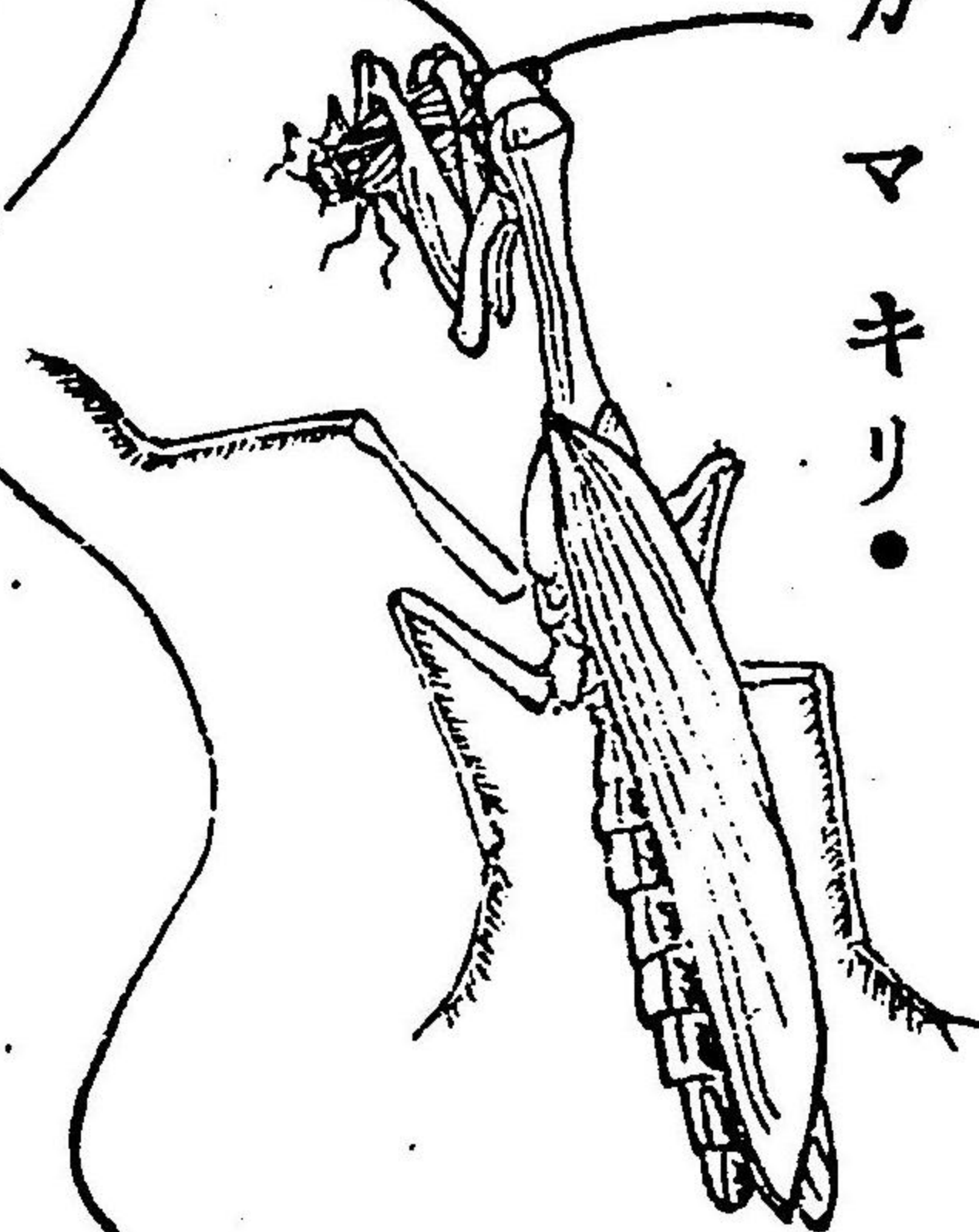
クサカゲロフ・テントムシ・カマキリ・
トシロコシ
ボト
は他
の害
蟲を
殺す
を以
て益
蟲と
云ふ。
クサカゲロフ
の卵を
シド
ン



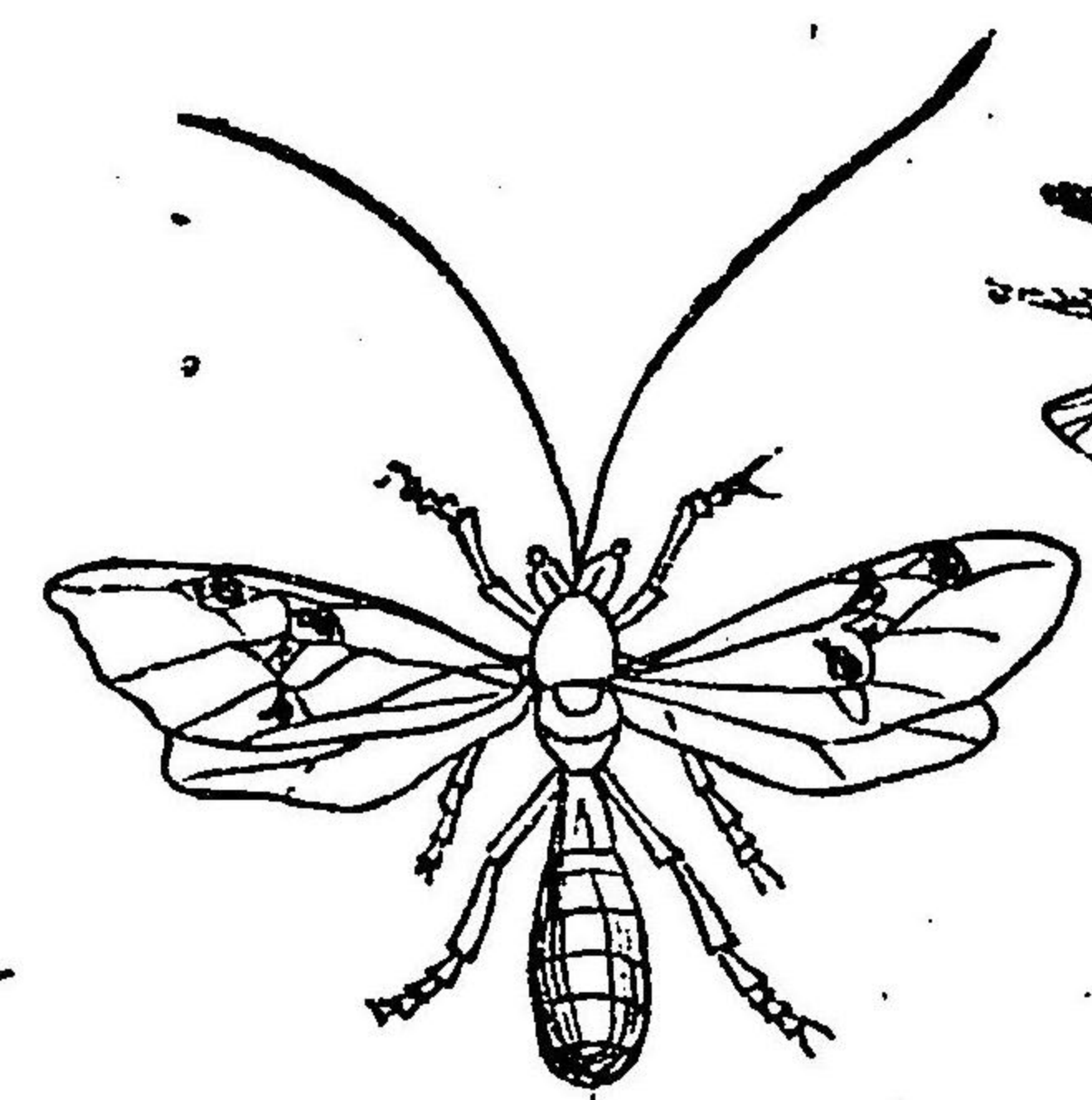
ふるげかさく



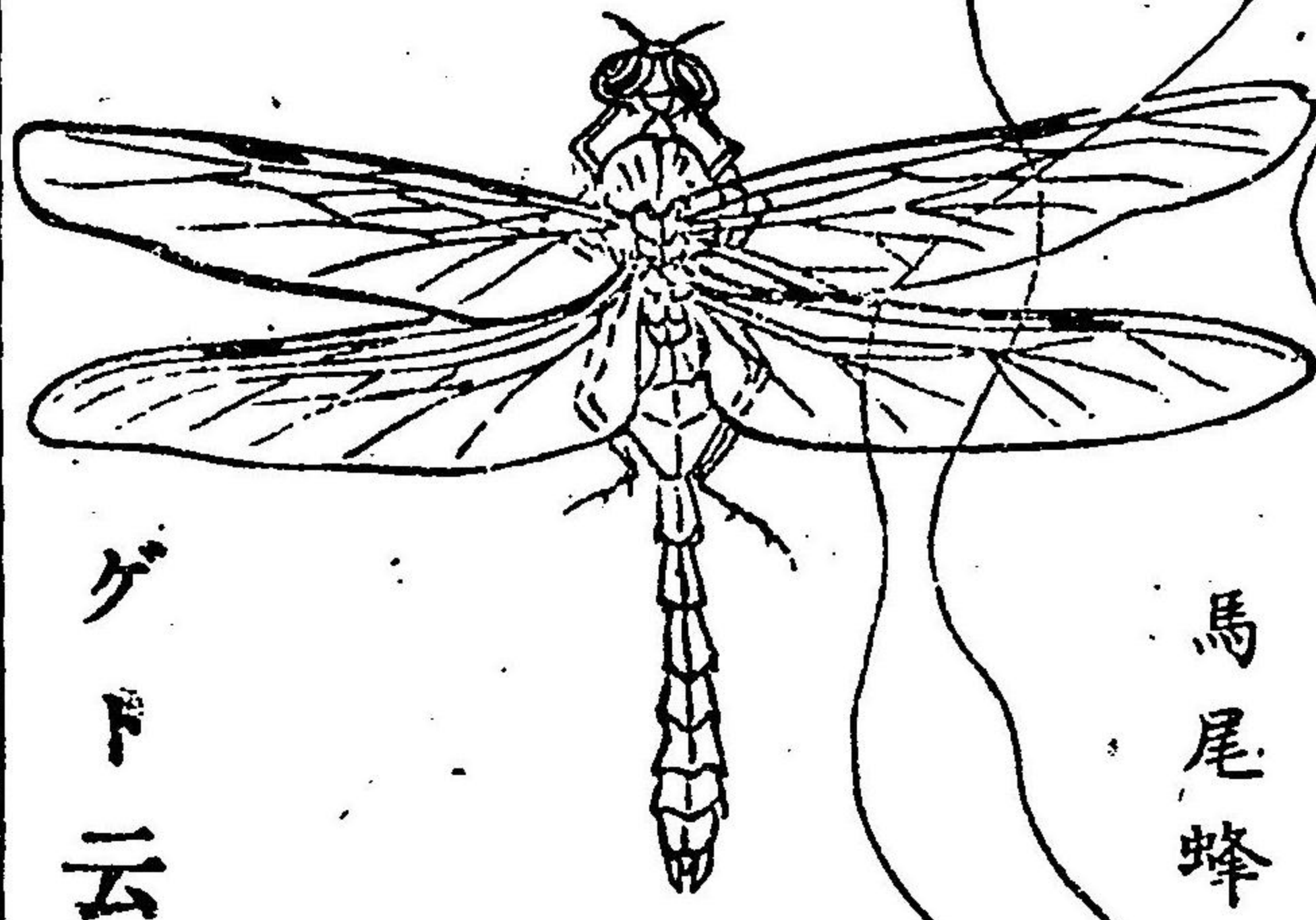
しむろとんて



りきまか



蜂かぬこ



ダトニ云ふ。

ぼんと

馬尾蜂

蕨 アラビ

の莖は毛を被りて地下にあり、其莖より年年羽状の葉を生ず。その出づる初めは渦状ワウジョウをなす。

わらび



わらびの小葉



としたの小葉



胞子囊



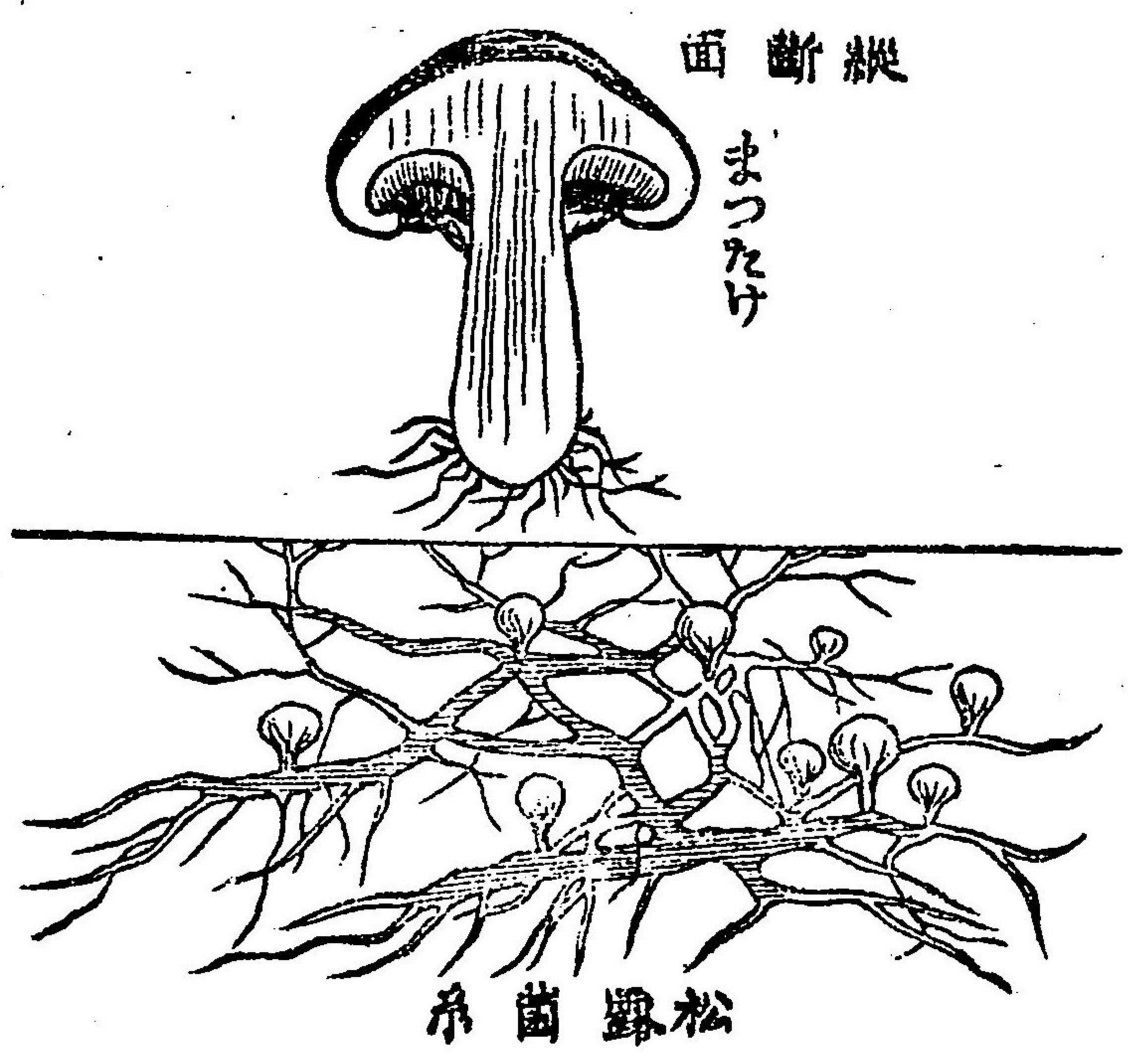
胞子囊

花なくして葉の裏の縁フチに多くの粒状リウジョウの實を生ず。スギゴケ・ゼンマイ・ウラボシ等を羊歯類メダカといふ。此

等及び木賊トクサ・藻類モ・苔類コケ・菌類キノコ等は皆無花植物なり。

菌類

マツタケ・シヒタケ・松露^{ソノロ}等あり。菌類は地中にある菌絲と云へる細き絲より生ず。



菌類の裏にヒダあり此間に實を生ず。菌類には毒^{ドク}のあるもの多し殊に美なるタケは多く毒なり。黴^{カビ}・バクテリアも菌類の一なり又腐^{クハ}廢せるものは皆眼に見る能はざる小なるカビを生ず。

土は地球の表面をうづめ動植物をこの土の上に生
活せしむ。

土に砂土あり、粘土ネズあり、又砂土と粘土とより成る
壤土ウツあり。植物は此壤土に生ず。

土には岩石の寒冷に逢ひて碎クサけたるものと。水に
洗ひ去られて、泥土ドとなりたるものと又火の爲め
碎かれたるものとあり。

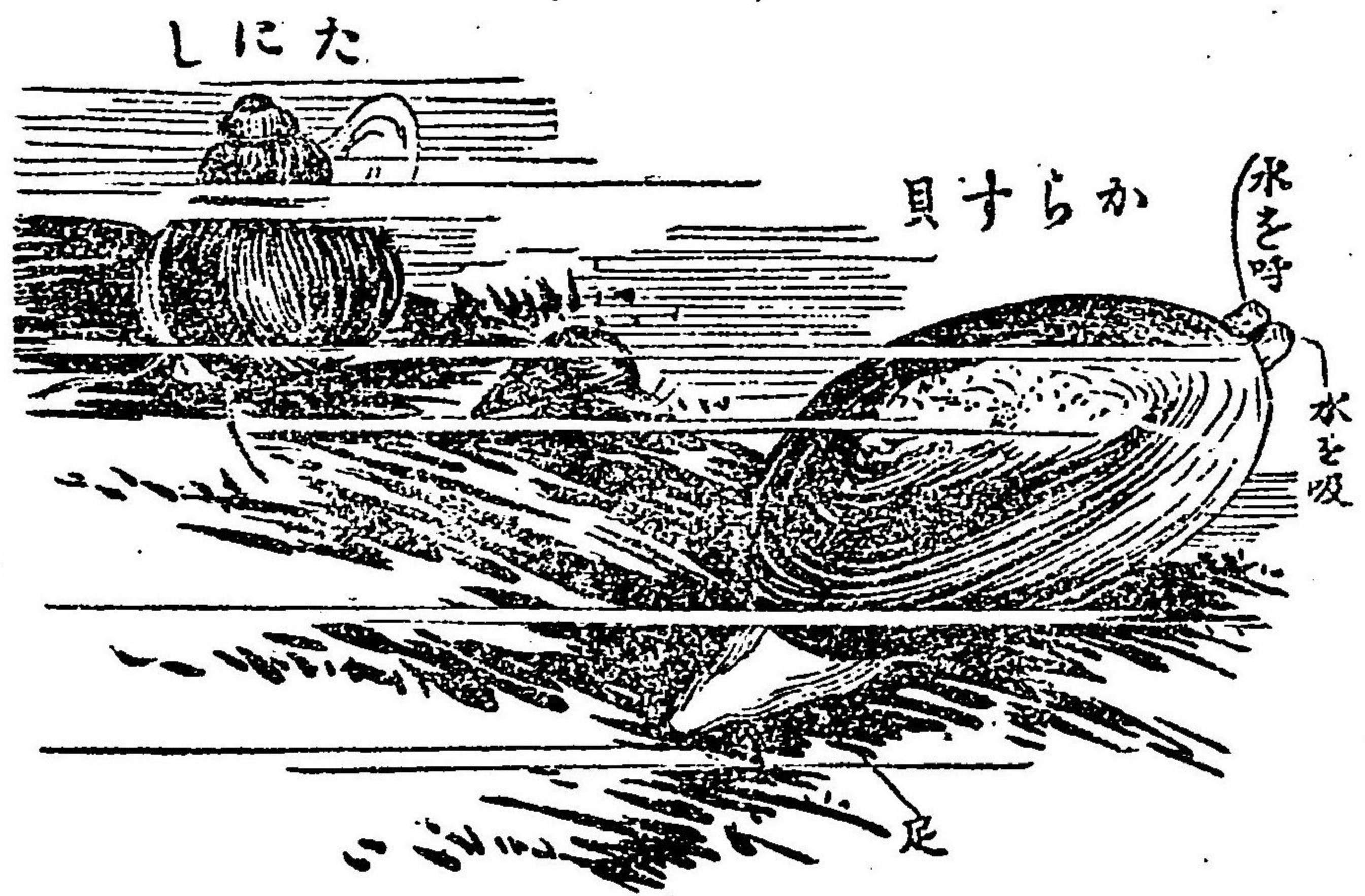
水

は天地の間をたえず環^ワり居るものなり。或は川・海・湖・泉より蒸^ムして空にのぼり雲となり雨となり或は土中に入りて又涌き出て或は動植物之を吸ひて又呼き出すが如く諸方をめぐり居るものとす。水・酒・油の如き流れ動くものを液^{エキ}體^{タイ}又は流^{リウ}動^{ドウ}體^{タイ}といふ。

水は雲・霧^{キリ}の如く氣^キ體^{タイ}となりことあり、雪^{ユキ}・霰^{セン}・雹^{ハル}・霜^{シユウ}・氷の如く固^{コウ}體^{タイ}となることあり。

カラス

貝は泥中ドロナカにすむ故又



む時に下方に舌の如きものを
 出すは足なり。又上方に二
 つの口あり、一は水を吸ふ口
 にて、一は水を呼く口なり。
 カラスガヒ・シシミ貝は淡水
 にすみ、ハマグリ・アサリ・カキ・
 ホタテガヒ等は海水にすむ
 此等を二枚貝類といひ又ア
 ハビ・ニシ・サザエの如き貝類
 をも合せて軟ナン體タイ動ドウ物ブツと云ふ。

鰓

は體の前部頭カシラと胸ムネと相合して大甲を被り、後部は腹部にて、七節より成り節毎に甲を被る。頭に二對

鰓

胸脚

腹脚

の鬚ヒレと一對の眼及び數對の殻カクあり。胸には五對

の足と腹には節毎に一對の鰓ヒレあり。第七節には

鰓なく第六節の鰓と相

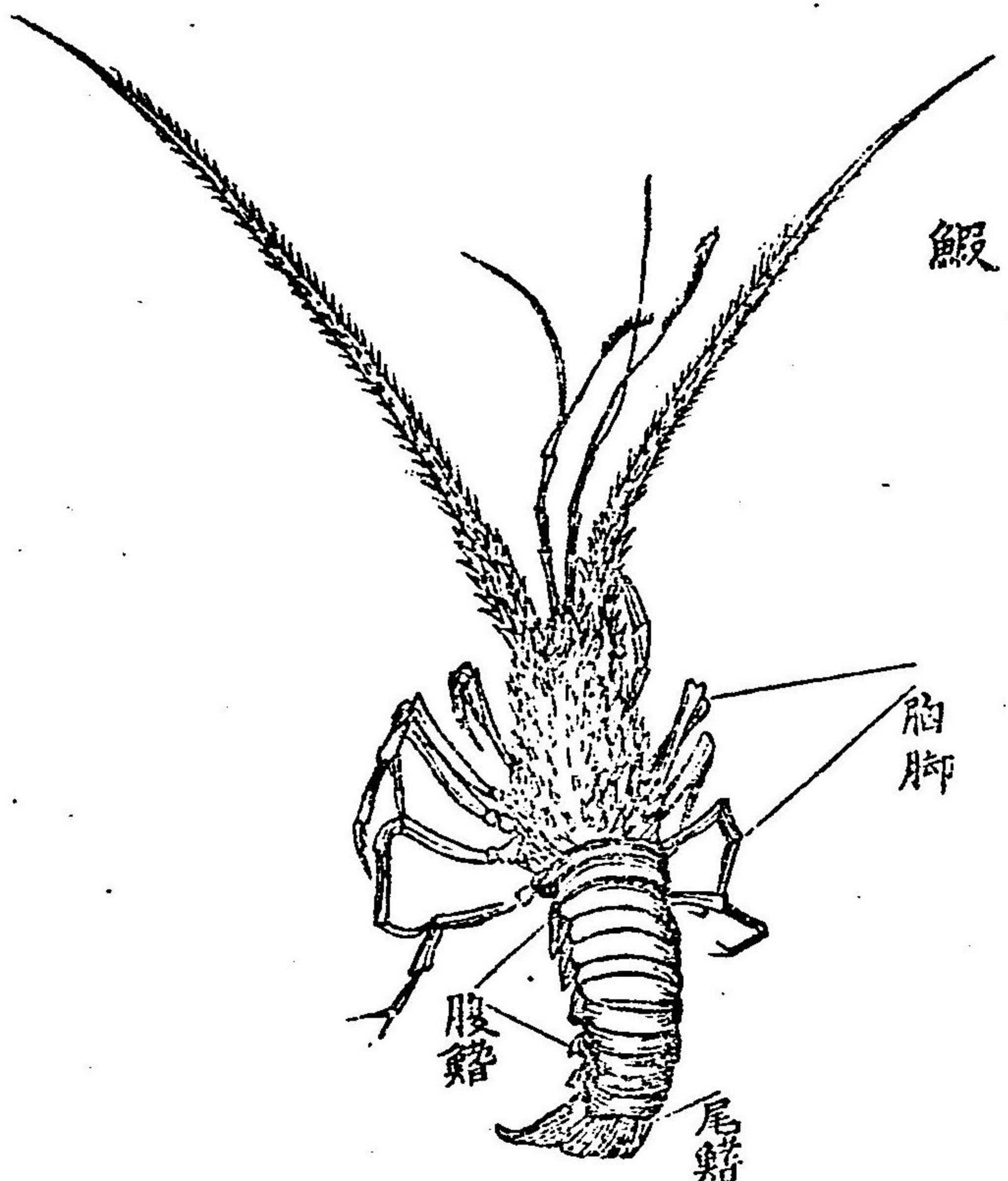
並びて廣き尾鰓をなす。

腹部の鰓と尾鰓とは游ユイ

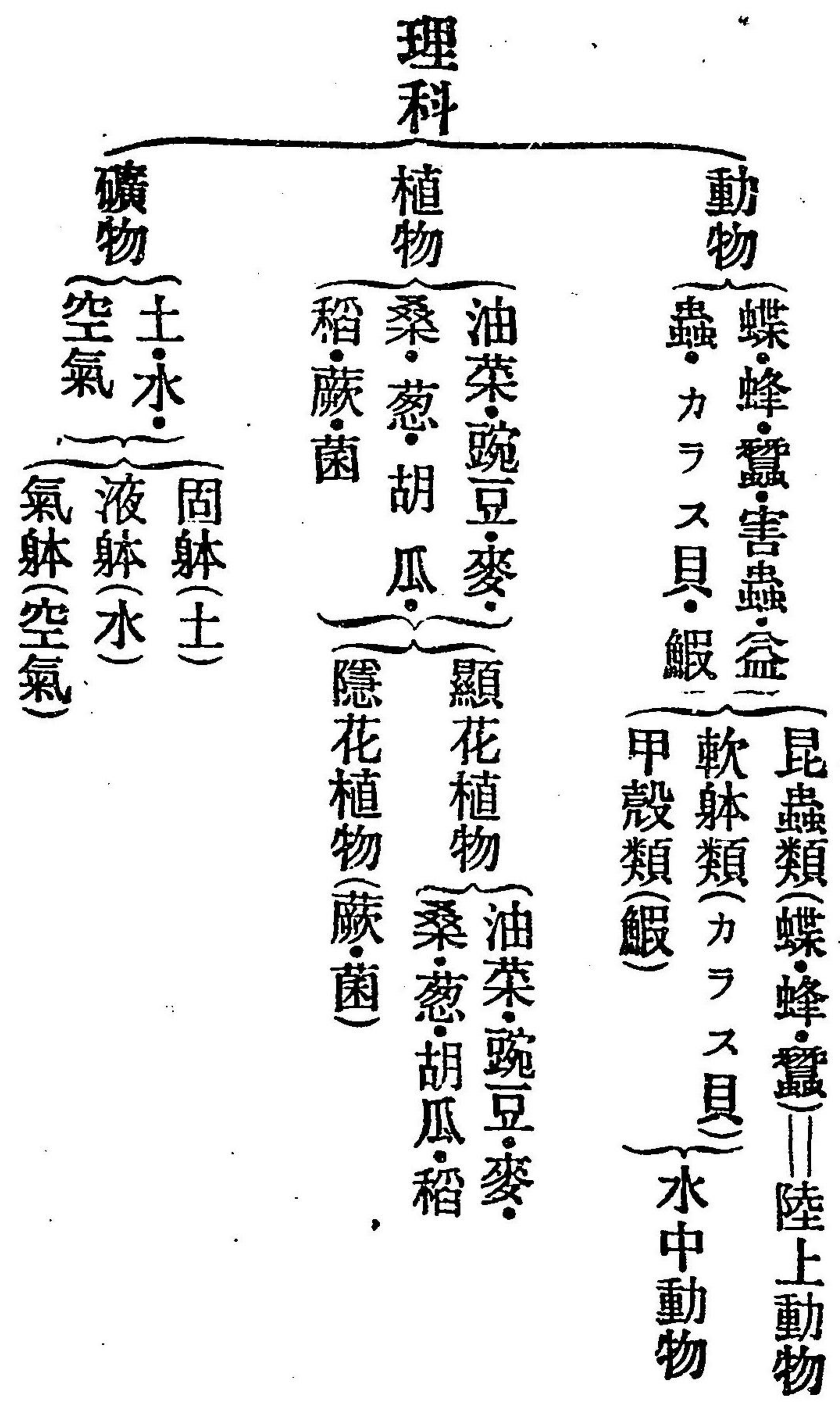
泳エイに胸足キョウソクは匍匐ホフクに用ふ。

蟹カニ・シヤコ・ミジンコ等を甲コウ殻コク類レイといひ、昆蟲類八足

類・甲殻類は皆節ある故之を節足類セツソクと云ふ。



理科筆記帳卷一終



明治三十七年三月十一日印刷
明治三十七年三月十四日發行



製複許不

著者

東京市本郷區本郷六丁目九番地
太陽舍主 木村知治

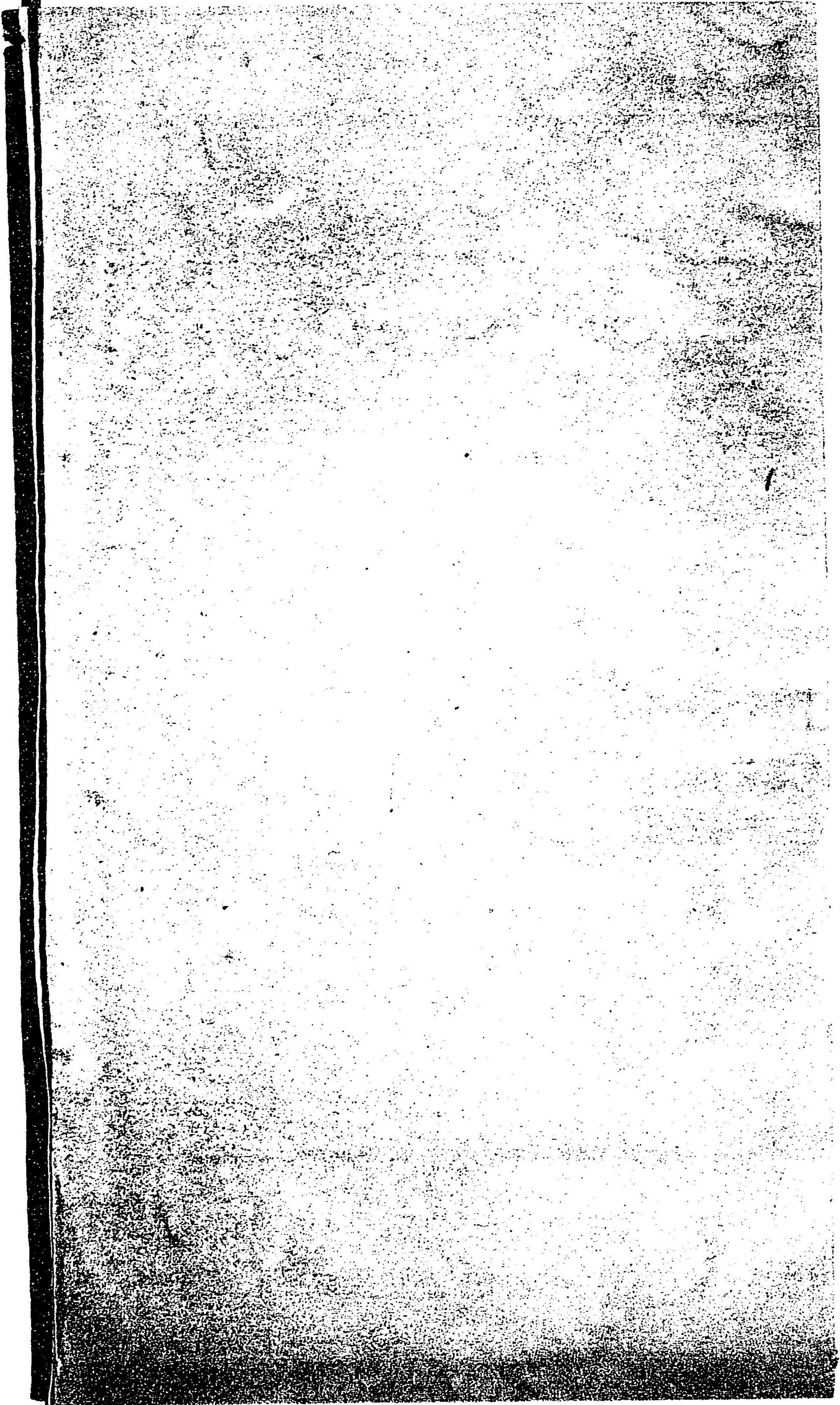
印刷者兼

東京市神田區南甲賀町八番地
公論社主須藤周三郎

發賣所

東京市神田區南甲賀町八番地
公論社

大賣捌所
東京寶文館東京堂松邑三松堂
大阪寶文館前川善兵衛



049420-001-7

特51-708

理科筆記帳(児童用) 卷1-3

教材取調会/編

M37

BEL-0617

